

高知大学 病院 ニュース

〔 編集 〕
 高知大学病院ニュース
 編集委員会
 委員長 山上 卓士
 〔 発行人 〕
 高知大学医学部附属病院
 病院長 執印 太郎

ブラジル内視鏡指導を終えて

内視鏡診療部 水田 洋

我々消化器内科・内視鏡診療部チームは菅沼医学部長の声かけを頂いて、2016年からブラジルにおける消化管内視鏡による早期胃がん・早期大腸がんの診断と治療に関する技術指導を行うことを目的として医療支援活動を実施しています。今年からはこの活動に賛同

いただいた高知南ロータリークラブが資金を提供してくださって、内視鏡治療のための処置具、更には外科治療にも使える高周波装置の寄付もいただいて現地の基幹病院に寄贈することが出来ました。今回ブラジルのカンボグランデ市にあるマツグロソ地域医療病院へ、消



集合写真

化器内科医師4名、消化器内視鏡技師(看護師)1名にて技術指導を行うために2018年1月6日～1月15日の日程で渡伯しました。ブラジルに行くには、途中のトランジットも含め普通に40時間以上かかります。覚えていらっしゃる方もいるかもしれませんが、今年の1月6日は乗り換え予定であったニューヨークが摂氏マイナス14-15度の大寒波！日本からニューヨークに向っていたJAL、ANAの飛行機は、ともにJFK空港が離発着を見合わせてしまったために、我々の飛行機も一度はシカゴへ着陸したものの機内で数時間待ちの後、今度はボストンへ移動。結局諸事情のため4名はボストンに2泊、3名はボストン1泊、ワシントンDC1泊、と足止めによってブラジルに到着しないままの帰国も覚悟しながらも、何とかブラジルまで4日かけての移動となりました。

は国民が無料で診療を受けることができます。国民の75%はこの保険制度で診療を受けていますが、病院自体はもちろん、医師もメディカルスタッフも十分ではないため、救急患者が病院の廊下で何時間も待たされたり、治療を受けたくても何日も待たされたりすることも当たり

前という状況です。一方、25%の富裕層は個人で加入している民間保険会社からお金が出るためプライベートクリニック等を受診し、日本と変わらない医療を受けることが出来るという大きな格差があるのが実情です。そのため、ブラジルでは日本の様に検診目的の内視鏡検査を受け

る機会は少ないため、ブラジルの内視鏡医にとって早期胃がんに遭遇する機会が少なく、その診断は難しいようです。2016年は初めての医療支援であったことから、そういったブラジルと日本の医療との違いのため戸惑う点があったり、臨床現場でもメディカルスタッフとのチーム医療が出来ていないことなども痛感しました。

それを踏まえて今年は本学から消化器内視鏡技師(看護師)1名が同行して支援を行えたこともあり、上部消化管内視鏡検査をスムーズに実施することができました。また、前回は講習に参加してくれたマツグロソ地域医療病院内視鏡チーフのエドワルダ医師を始め、ホジェリオ医師、アガサ医師など多くの医師が本年も参加してくれたため友好的な雰囲気から活動を開始できたことが、技術指導をスムーズに進行する上で非常に良かったと思います。

ブラジルの医療の現状について
 ブラジルは日本と医療保険制度が違い、公的保険(SUS:統一保健医療システム)によって基本的に



- 1 マットグロッシ地域医療病院
内視鏡室にて
画像強調内視鏡検査を指導
- 2 画像強調内視鏡レクチャー
- 3 内視鏡実演指導
- 4 内視鏡診断についての講義

ブラジルで早期胃がんを見つけるために

ブラジルも日本と同じように胃がんの多い国ですが、日本と違い胃がんの罹患数と死亡数があまり変わりません。つまり胃がんが見つかる人はほとんどが進行がんで見つかるため5年生生存率も25%弱と低い状況です。この状況を改善するには内視鏡による早期胃がん治療の技術向上も重要ですが、早期胃がん発見のための技術向上はさらに重要であると考えます。そのため、今年最新の内視鏡システム(レーザー内視鏡)をデモ機として調達した上で、早期胃がんの発見を実感してもらうために、スクリーニングの手順からピロリ感染の有無に関する画像的診断方法などを具体的に指導しました。ピロリ感染の有無により胃がん発症のリスクは大きく異なるため、現在日本において主流となっている「京都分類」を用いた胃炎所見によるピロリ感染の診断法の有用性を指導したところ、彼らにとって初めて知る概念であったことからインパクトが非常に大きかったようで非常に興味を持ってくれたようです。実際に京都分類における「RAC」(規則的な集合血管)などの所見を実際に拾い上げるなど熱心に取り組んで、京都分類の重要性を認識してくれた様子でした。後日、「現在は内視鏡検査にて、その京都分類の表を用いるよう努力している」との連絡があったことは我々としても非常に嬉しく思いました。

ブラジルでチーム医療

また、今年の内視鏡技術指導において初めての試みである看護師を含めたチーム医療の重要性についても指導できたことは非常に有意義でした。一昨年訪問した際には、患者の搬入に時間がかかったり、検査・治療が思うように進行しないなどの場面が多く、また検査や治療においても看護師による積極的な介助はなくチー

ム医療が行えていないのが現状でした。そこで、本年は我が国では標準的に行われているチーム医療における看護師や技師の役割の重要性について理解してもらうための技術指導を実施しました。看護師や技師は、内視鏡機器の保守点検およびセットアップと準備、検査・治療での医師に対する介助、検査や治療中の患者のケア、さらには術後の内視鏡の洗浄消毒など多くの役割を果たすことで、医師が行う内視鏡検査や治療を安全かつ正確に実施することが出来ますが、このことを実地指導出来たことは、現地のスタッフには大きなインパクトとして受け止められたようです。滞在中に徐々に日本式看護が浸透したためか多くの質問が出るようになったものの、ガイドラインや資料などの作成準備不足や、ポルトガル語と日本語によるコミュニケーションの準備不足があったため、次回にはそれらの点を克服すべきと痛感しました。

最後に

今回は、訪問した日程が年始で現地の休暇シーズンと重なっていたことから、早期胃がん症例がなかったため、治療の指導には至らなかったことは大変残念だったので、本年11月に再度訪問予定であることから、事前に症例を集めて頂けるように十分な準備時間を取った上で指導に行く予定です。実は、その前に今年8月に、向こうの内視鏡チーフのエドワルダ医師が当院内視鏡診療部へ研修に来ることが実現しそうです。彼女は技術的にははっきりとしたものを持っているので、当院で早期胃がんを数多く観察し実際に診断する機会を持つことで診断する力が付けば、向こうで症例を集めることも出来るようになり11月には症例を準備してくれると期待しています。また治療技術についても学んで帰ってくれることで今後ブラジルでの内視鏡治療のリーダーとなってくれることを期待しています。

先端医療学コース学生顕彰制度

「相良賞」

先端医療学推進センター長 本家 孝一

研究は将来への知の投資です。大学で学ぶ知識や技術は過去の研究の成果です。知識量は指数関数的に蓄積し、医療は年々変化します。医師は過去の知識を覚えているだけでは足りず、未来の高度医療に対処できる科学的思考能力をもつことが大切です。『先端医療学コース』では、医学という科学の思考と最先端医療開発研究の実践を通して、課題を探索し解決する能力を磨き、主体性とリサーチマインドを鍛錬します。研究を行うには正規のカリキュラム時間だけでは不十分なので、放課後や休日にも研究をしなければならないこともあります。学生達は頑張って研究しています。その甲斐あって、研究成果を学会で筆頭演者として発表し、優秀演題賞を受賞する学生が出て来ました。

本学でも独自に優秀な学生を顕彰するために、先端医療学推進センターの産みの親である相良祐輔元学長の名を冠した「相良賞」を平成23年度から授与しています。昨年(平成29年)度は、3年間の研究成果を評価する金賞は残念ながら該



※写真前列左から、本家孝一センター長、相良祐輔名誉センター長、松澤 佑一さん、渡部 伸一朗さん、間崎 護さん、一般財団法人豊仁会 前田邦章理事長
後列左から寺田典生再生医療部門長、奥原義保情報医療部門長

当がありませんでしたが、学年毎に1年間の研究成果を評価する銀賞は、3年生1名(現4年生)、4年生2名(現5年生)の3名が受賞しました。今年度の最初の授業日(平成30年4月16日)に3学年の『先端医療学コース』履修生全員を集めて、相良賞授与式と受賞者による研究発表を行いました。

将来、地域医療を目指す学生諸君にとっても科学的思考能力は不可欠であり、『先端医療学コース』はこれを身につける絶好のチャンスです。将来の高知大学医学部附属病院を背負って立つ志の高い学生には、是非、『先端医療学コース』で相良賞にチャレンジしていただきたいと思います。

医学科4年 間崎 護
(腎機能再生医療研究班)

私の行っている研究ではIL36Rの急性腎障害、慢性腎臓病の腎予後に与える影響を調査しています。またそこから派生させて、IL36RのリガンドであるIL36aの新規バイオマーカーとしての可能性や、リガンドに対する抗体で創薬への可能性も研究しています。本研究はまだまだ発展途上で、実際に腎臓病の患者さんを救うには年月が必要ですが、必ず役に立つと考えています。

相良賞「銀賞」を受賞して

医学科5年 渡部 伸一朗
(メディカルデータマイニング研究班)

このたびは、このような素晴らしい賞を3年も連続でいただくことになり、大変光栄に思います。受賞して今思うことは、この栄誉は多くの方々のおかげであるということです。特にご指導いただきましたメディカルデータマイニング研究班の先生方、麻酔科学・集中治療医学講座の先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。

医学科5年 松澤 佑一
(ファージ療法研究班)

この度は、相良賞銀賞という名誉な賞をいただき、大変光栄に思うと同時に、ご指導いただいた先生方、研究を評価していただいた先生方に感謝申し上げます。研究はまだ基礎研究の段階であり、最終的なゴールは臨床への応用です。先端医療学コースは修了しましたが、学会発表、論文作成を通して研究を進展させていきたいです。

新任の挨拶



会計課長
梅原 陵一

平成30年4月1日付けで医学部・病院事務部会計課長を拝命いたしました。

私は、現在中断となっています附属病院再開発が始まる前の平成19年度から平成22年度に当時の経営企画課において予算担当専門職員として勤務し、その後財務課において7年間予算担当係長、課長補佐を経験してまいりました。運営費交付金の減少や附属病院再開発の再開など医学部並びに附属病院を取り巻く課題に対し、これまでの経験を少しでも活かすことができたと考えております。

医学部長、医療学系長、病院長のご指導のもと微力ではございますが、医学部並びに附属病院の発展のため精一杯努める所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



医事課長
和氣 明彦

この度、平成30年4月1日付けで医事課長に就任しました。前任地は香川大学医学部(経営企画課)ですが、出身は愛媛県西予市です。私は昭和58年4月に香川医科大学(当時)に採用され、その年の10月に附属病院が開院しました。勤め始めた頃は、附属病院がまだ建設中だった光景を覚えています。高知大学附属病院(当時は高知医科大学)はその2年前に開院されており、香川医科大学(当時)にとっては同じ四国内の先輩大学として、いろいろご教示いただき、様々な交流も行き、とても身近な存在でした。私は医科大学時代から統合により香川大学医学部に移行した後の期間を含め、全て医学部勤務であり、まだ継続中です。

香川大学附属病院では数年前、病院再開発中という事情もあって、病床稼働率が全国国立大で最下位となり附属病院収入低迷という大きな危機に陥っておりました。高知大学附属病院でも病床稼働率が一時下がっていたようですが、スタッフのご尽力により、だいぶ回復されています。ただ、今度は、重症度、医療・看護必要度等、他の問題が出てきております。香川での経験を生かし、微力ではありますが、附属病院の増収等に貢献していく所存です。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

忙しい朝にも、充実した朝食を

じめじめした梅雨の朝には、胃腸にも優しい温野菜を食べましょう！前夜にひと手間かけることで、短時間で朝食セットが出来ます。



- ◇30～69歳の男性は2,100～2,300kcal、女性は1,650～1,750kcalが目安
- ◇1日に摂取する食物繊維の目安は20g
- ◇1日の食塩摂取量の目標は、男性8g、女性7g

メニュー ●チーズトースト ●彩りポトフ ●賑わいヨーグルト 紅茶

15分で完成!



今回の担当：栄養管理副部長 伊與木 美保

料理のコンセプト、テーマ

「忙しい朝でも、バランスよく適正なカロリーの食事を摂りましょう！」
～野菜を沢山食べることによって、便秘解消、食後高血糖予防に繋がります～

【材 料】

- チーズトースト**
 - ライ麦食パン……………60g
 - ナチュラルチーズ……………20g
(スライスまたはカットしたもの)
 - ケチャップ……………3g
- 彩りポトフ**
 - フルーツマト……………30g
 - オクラ……………15g
 - カリフラワー……………30g
 - ★玉葱……………30g
 - ★じゃが芋……………40g
 - ★人参……………25g
 - ★キャベツ……………40g
 - ★しめじ……………20g
 - 厚切りベーコン……………30g
(鶏胸肉40gにすると減塩でヘルシー)
 - にんにく……………10g
 - コンソメ……………3g
(キューブでも顆粒でもOK)
 - ローリエ……………1枚
 - 塩……………0.2g
 - 黒こしょう……………少々
 - 水……………200cc
- 賑わいヨーグルト**
 - 無糖ヨーグルト……………70g
 - 小夏……………40g
 - ゴールドキウイ……………30g
 - 素焼アーモンド……………5g

【作り方】

- チーズトースト**
 - ①食パンの上にチーズを乗せ、アクセントにケチャップを振りかけ、オーブントースターで焼く。(タバスコを少し加えると、パンチが効きます)
- 彩りポトフ** **—前夜に調理しておき、翌朝に再加熱すれば便利—**
 - ①フルーツマトは丸ごと湯むきして、オクラはさっと湯がいて、ガクの部分を取っておきます。じゃが芋は皮を剥いて、カリフラワーは房に小分けして、湯がきます。他の野菜は、適度な大きさに切り揃えておきます。
 - ②厚切りベーコンは、一口大の拍子木切りにしておきます。
 - ③鍋に水とコンソメとにんにく、ローリエを入れて火にかけ煮立て、ベーコンと、★のついた野菜を入れて強火にて煮ます。沸騰すれば弱火にし、アクを取りながら40分程煮込みます。フルーツマト、カリフラワーとオクラを加えて、塩と黒コショウで味を調えます。
注:食塩量を控える方は、お皿に盛りつけるときスープは少な目にごください。
- 賑わいヨーグルト**
 - ①小夏とキウイは皮を剥いて、お好みの大きさにカットする。
 - ②アーモンドは包丁で荒く刻む。
 - ③容器にヨーグルトを入れ、フルーツを飾り、アーモンドを上から散らす。

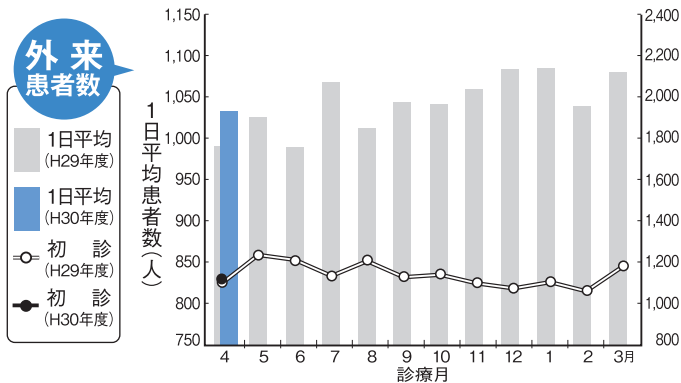
朝食の栄養量	
エネルギー	575kcal
たんぱく質	22.8g
脂 質	26.2g
炭水化物	65.3g
カルシウム	311mg
食物繊維	11.1g
食塩相当量	3.6g

栄養管理部 管理栄養士9名

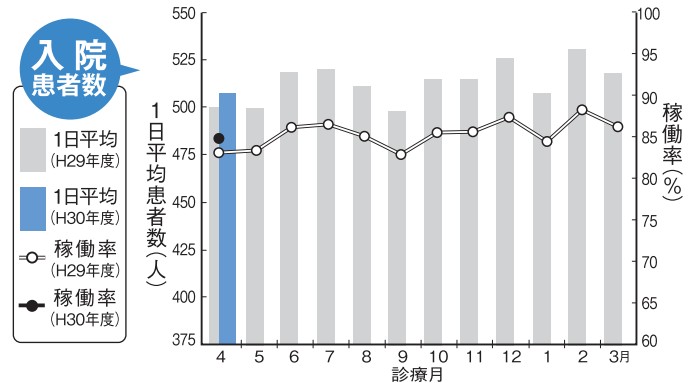


診 療 状 況

外来患者数



入院患者数



編集後記

本年度より、病院ニュース編集委員会委員長を仰せつかりました放射線科の山上卓士です。本誌を通じて病院内の情報や出来事、トピックス等を幅広く皆様にお伝えし、附属病院の発展に繋がっていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本号では、ブラジルで内視鏡指導をされた内視鏡診療部の先生方の体験談、相良賞受賞報告と受賞された方々の喜びの声等を掲載させていただきました。また栄養管理部からのレシピを披露していただき

ました。さらには今年度赴任された会計課長、医事課長のご挨拶、各部署に新採用された方々の抱負を特集記事に取り上げさせていただきました。寄稿していただいた皆様、お忙しい中ご執筆いただきありがとうございました。

本号に引き続き次号以降も明るく元気な高知大学病院ニュースを作っていきたく思います。皆様からの話題提供をお待ちしております。もうすぐ梅雨も明け、暑い夏がやってきました。どうぞご自愛のうえお過ごしいただければと存じます。(文責：山上 卓士)